

令和 7年度予算見積調書

課室名：生產振興課

担当名：総務・野菜担当

内線：4133

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P64	あまかおべにべに倍増作戦展開事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	埼玉園芸生産力強化支援費	
事業期間	令和6年度～令和10年度	根拠法令	無し				針路分野施策	12 儲かる農林業の推進 1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 8, 9, 13 SDGsターゲット 8-2, 9-5, 13-2
1 事業概要 アグリテックの活用や新技術養液灌水装置を備えた実とり苗生産施設の整備を支援するとともに、栽培施設への遮光技術の導入を支援し、美味しく高品質な県育成品種のいちごの栽培面積を倍増を図る。 ア あまかおべにべに拡大体制強化事業 6,403千円 イ あまかおべにべに生産施設整備事業 36,000千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア あまかおべにべに拡大体制強化事業 6,403千円 イ あまかおべにべに生産施設整備事業 36,000千円 (ア) 実とり苗生産施設整備戦略 21,000千円 (イ) 品質・食味確保栽培施設強化事業 15,000千円 (2) 事業計画 ア あまかおべにべに拡大体制強化事業 セル苗の現地栽培実証 苗の安定供給体制の検討 品質・食味維持向上のための活用支援 イ あまかおべにべに生産施設整備事業 (ア) 実とり苗生産施設整備戦略 県育成品種の実とり苗を生産するために必要な施設の整備支援 (イ) 品質・食味確保栽培施設強化事業 栽培面積を拡大する上で、品質・食味および安定した出荷量を維持して生産するため、高温対策として必要な遮光資材等の整備 (3) 事業効果 育苗施設の支援と新技術による苗生産等により必要な苗が確保され、県育成いちご品種が倍増以上になる。 県育成品種の新規の栽培要望にも対応できる。 県育成品種のいちごが、品質・食味が安定して生産される。 【活動指標アウトプット】 新技術養液灌水装置を備えた育苗施設の整備 12件/年 栽培施設用の遮光資材整備支援 25件/年 【活動指標アウトカム】 令和5年産12.7ha→令和9年産31.9ha					
2 事業主体及び負担区分 ア (県10/10) イ (県1/2)市0・事業主体1/2									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	42,403							42,403	△13,327
前年額	55,730							55,730	

事業内訳書

事業名	あまかおべにべに倍増作戦展開事業		
単位事業名	あまかおべにべに拡大体制強化事業	予算額	6,403千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	6,403	△3,577	
合計	6,403	△3,577	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	378	0	セル苗現地実証の調査等に係る旅費
需用費	4,394	684	消耗品費3,849千円、燃料費285千円、光熱水費260千円
役務費	261	167	通信運搬費261千円
委託料	1,320	△3,480	委託費1,320千円
使用料及び賃借料	50	0	会場使用料50千円
備品購入費	0	△948	
合計	6,403	△3,577	

単位事業名	あまかおべにべに生産施設整備事業	予算額	36,000千円
-------	------------------	-----	----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	36,000	△9,750	
合計	36,000	△9,750	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	36,000	△9,750	育苗生産施設整備2,400千円×1/2×10経営体 育苗・供給苗生産施設整備支援9,000千円×1/2×2経営体 遮光資材等整備支援1,200千円×1/2×25経営体
合計	36,000	△9,750	